

45.「結婚すること」

2012年9月1日 社会福祉法人 江刺保育園

結婚するとはどんなことなのでしょう。男女が出会い、共に生活したいという思いが確認でき来た時、結婚を決意すると思います。この時点では好きであるとか、嫌いであるとかが結婚を決意する重要な要素になっていると思います。好きなことは愛情があるということと同じ意味であると誰しも思っています。そしていざ結婚し、子どもができ、2年、3年と経過すると、どうして結婚してしまったのかと悩む方たちが非常に多くなっています。結婚とはただ単に好きであるからとか、相性がいいからとかで、片付けられない人生の大切な出来事なのだと思います。



結婚してよい家庭を創るためには、相手を受け入れることが必要です。お互いがお互いの長所、短所をそのまま受け入れることができるかどうか大切です。たとえ欠点があったとしても、それを許すことができるかどうかです。結婚生活はお互いのすべてが見えてきます。2歳から3歳くらいの幼い子供たちが自分だけの世界から、他の友達との生活を受け入れるように、夫婦はお互いの違いや、欠点を認め、許し、受け入れる覚悟を持たなければなりません。その受け入れる覚悟が真実の愛情なのです。

これは、1年2年でできることではありません。夫婦がお互いの人生をかけて獲得しなければならないことなのです。簡単にあきらめてはいけません。お互いに努力が必要です。家庭生活を営むことにおいて、様々な辛い事、悲しい事、うれしい事、感謝したいことなど体験することでしょう。その一つ一つを自分たちのより良い未来のための恵みとして受け入れるという意味と希望が必要です。

現代社会の中で生きている私たちは個人主義という考え方を持っています。自分の考えを優先し自分の意志の通りに生きて行きたいという思いです。しかし、結婚することによって自分の個人的な生活を相手に合わせた生活に変えなければなりません。生活だけではなく自分の考え方も相手を思いながら良い関係性保つように変えることが求められます。これはどちらか一方ではなくお互いにそうしなければなりません。それが今の人たちは非常に苦手なようです。しかし、これは避けられないことです。生きるために呼吸をしなければならないことと同じことなのです。

結婚とは、より良い社会貢献をするということです。一人の人間にできないことを、二人が力を合わせて未来のために新しい命を生み出し、社会のために働くということです。結婚はその覚悟をもって男女が共に暮らし家庭を営むことなのです。それは、辛い事、難しい事、悲しい事があるかもしれません。しかし、それ以上に大きな喜びと、楽しさがそれぞれの人生を彩ることなのです。真実に自分が幸福でありたいと望むなら、お互いがより良い家庭を築いて行くという思いで毎日を過ごすことです。これは難しい事ではありません。多くの家庭はそうようにして毎日を過ごされているのです。結婚することは良いことです。そして、お互いが寿命をまっとうしそのままの夫婦で死を迎えるということは、さらに尊い事なのだと思います。

《とり肉と青のりチーズ焼き》4人分

鶏肉 120g、塩コショウ 少々、
粉チーズ 大さじ1.5、
小麦粉 小さじ4、卵 1個、
青のり 少々
無塩バター 10g

- ① とり肉は食べやすい大きさに切る。塩コショウを軽くふり、下味をつける。
- ② ボウルに粉チーズ、小麦粉、溶き卵、青のり、を入れ混ぜる。
- ③ フライパンを熱し、バターをしいて①、②につけて両面を焼いて出来上がりです。

